

駅近くに歴史的文化遺産が点在する町ひじの再発見



連携自治体 日出町ツーリズム協会
別府大学文学部史学文化財学科
国際経営学部国際経営学科
文学部人間関係学科

3年/児島康介 円城寺健悠
3年/草牧遥人 クァクユジン
准教授/小嶋紀博

概要(背景・目的)

豊臣氏ゆかりの豊後の小京都「ひじ」。別府・湯布院と日本を代表する温泉地に挟まれ、中津・竹田といった九州でも有名な城下町に隠れた当地。この当地をもっと知ってもらい、観光客を呼び込む新しい地図を制作することを目的とした。

本事業では、駅近くに歴史的文化遺産が多く点在するという立地の好条件を活かし、学生がフットパスを体験し、学生目線で新たな短時間で楽しめる「寺社めぐり」ツアーの新地図を企画。加えて、学生が地域の自然や観光資源の魅力に触れ、地域が抱える課題について発見し、その解決策などを見出すなど当事者意識を身に付けるとともに、今後は、その担い手として期待される。



活動の実施状況

ひじツーリズム協会から日出町における観光の現状や課題についての聞き取りを行い、「日出町は、貴重な歴史的文化遺産が多く残っており、いくつかのお寺の住職が定期的に集まり観光客の誘致に積極的である」とのこと。そこで同協会から、フットパスを体験し学生目線による短時間で楽しめる地図の作成を提案され着手。

コロナ禍ではあったが、観光ボランティアによる現地の説明を聞いて回り、身近にある貴重な歴史的文化遺産を観ることができた。その後学生は、資料収集担当、原稿作成担当、デザイン担当など、各作業を分担し地図を作成した。



事業の地域への成果

学生がフットパスを体験し、貴重な歴史的文化遺産が豊富な日出町の魅力を2時間程で楽しめる地図を作成。作成した地図は県内の観光案内所等に設置し、今後、観光客の増加が期待される。学生は、身近に場所にも深い歴史と文化財が存在することを体験し、街歩きを楽しむを実感するとともに、チームワークの大切さを学んだ。

